

あとがき

このたび、総合医科学研究所紀要第43巻を発行させていただきました。多大な経済的ご支援をいただいている法人、日頃から研究所の業務内容にアドバイスを頂戴している運営委員会の先生方をはじめとした学内の関係者の皆様に御礼申し上げます。また、原稿をご寄稿いただきました学内の研究者の皆様の貢献に感謝申し上げます。この紀要は令和4年度の実績を令和5年度中にまとめたものです。令和5年秋には、旧総合研究所（総合研究棟）と旧統合医科学研究所（心臓血圧研究所地下）の研究室が既に稼働していた巴研究教育棟に増築された新しい研究施設への移転を完了し、研究所は新しいスタートとなりました。これで、本院の研究施設としては一箇所に集約され、ユーザーの皆様への支援体制の効率化が期待されます。また、八千代医療センター分室、足立医療センター分室も本院研究施設との連携を通して施設の機材などの調達や運用において一層の協力体制を強化することが可能になってきました。総合医科学研究所では、ユーザーの皆様が共同で活用していただき、機器の整備によっていつでも実験が可能な状態を保つことで成果に繋がるよう職員一同取り組んで参りました。本院での共同利用施設では新しい共焦点レーザー顕微鏡の導入などにより研究での円滑なデータ取得のサポートに務めます。また、解析サービス部門では、臨床医が検体を預けることなどで解析が進む仕組みを構築しましたが、学内で徐々に定着して参りました。研究所のプラットフォームを活用していただき、総合医科学研究所の教職員と共に学内の医学研究の一層の発展を目指していただけることを切に願っております。

令和6年3月

総合医科学研究所
所長・教授 三谷 昌平